

地域の方々との交流

12月2日に全校で地域の方々との交流会が行われました。

1、2年生は「すいとん作り」3、4年生は「輪かざり作り」5、6年生は「しめなわ作り」を教わりました。講師は地域のおじいちゃんおばあちゃん先生。いつか、僕たち私たちが大人になった時に子供たちに教えたいな。

1,2年生 ★すいとん作り★



班ごとちがつた味のすいとんができあがりました。
かぼちゃのきらいな子もたくさんおかわりしてました。

《おばあちゃん先生より》 「おばあちゃんの名前は?」「おじいちゃん知っているよ。」なんておしゃべりしながら作りました。何年も来ているけど、いつも楽しいです。お便りが来るのも楽しみです。



3,4年生 ★輪かざり作り★

《おじいちゃん先生より》 みんな上手にできました。初めて作るとは思えない子もいました。3年生は来年まで忘れないようにね。

★3年生は初挑戦。
4年生は去年より上手にできるかな。

5,6年生 ★しめかざり作り★

《生徒より》 難しかったけど、先生のお陰できれいにできました。地域の方と交流できて楽しかつたです。



上手にできたでしょ！

先生、教えて～

こうしてな
足も使うんだよ。

《おじいちゃん先生より》 最近は作らない家も多いし、わらをとっておくこと自体あまりない。子どもたちと顔見知りになれる良い機会ですね。

福祉教育新聞

～箕輪南小学校の取り組み～

第1号



平成29年 3月 1日発行

この新聞では各学校の「福祉教育」の取り組みの様子を紹介していきます。「福祉教育」は、地域の福祉問題や課題にふれるなかで、ともに手をたずさえて豊かに生きていくための「思いやりの心」や「助けあいの心」を育むことを目的としています。

箕輪町社会福祉協議会では福祉教育推進の一つとして学校等関連機関と連携をとりながら、子供達の福祉・ボランティア活動の支援・推進を行っています。また、住民主体による「住みよい福祉のまちづくり」のための地域福祉の支援・推進も行っています。



今回は、箕輪南小学校の取り組みを紹介します。

〈施設訪問〉

みのわ園やゆとり荘に訪問し、施設利用者の皆様との交流が行われました。

★みのわ園★



毎年、音楽会にご招待しています。

7月には花壇の整備に、
12月にはリコーダーと太鼓の演奏で訪問しました。

★ゆとり荘★



気持ちいいなあ。

施設職員の感想

利用者さんは子供達が来ると、パッと表情が変わり笑顔になります。職員としては、そういう利用者さんを見るのもうれしいです。こういう交流がずっと続けていけたらうれしいです。

おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に花壇の苗の植え替えをしました。

1、2年生が訪問。
踊りを見もらったり、一緒に風船ゲームをしました。
肩もみもしました。

3年生

★ アイマスク体験 ★



～目が見えないってどんな感じ？～

誘導のおかげで安心できたよ。

階段も上ったり下りたりしました。

＜体験した小学生より＞

- ・体験したら思ったよりも怖かったし、真っ暗だったのでびっくりしました。
- ・目の見えない人の生活の仕方も気になります。
- ・お母さんの目をかくして、学校でなったことをじっさいにやってみたいです。
- ・こうやって手伝ってくれる人がいたら目が悪い人も安心するんだと思いました。

＜担任の丸山先生より＞

平らなコースだけでなく、階段コースも体験し、子どもたちは目が見えない中で動くことの恐怖感を実感できたと思います。街の中でそういう方に出会ったら、その立場で寄りそって行動できるようこれから学校生活での指導を考えていきたいと思います。

視覚障がいの方のお手伝いをする時は？

- ・まず、こちらから声をかけましょう。
- ・本人の希望に合わせましょう。
- ・左右、前後、何歩、何センチなど具体的に説明しましょう。
- ・誘導する時は、ひじの上などをつかんでもらい、横半歩前を歩きましょう。

4年生

★ 点字学習 ★



～点字を書いて先生に読んでもらおう～

★点字は視覚障がい者が「読んだり」「書いたり」する為の文字です。

点字は六つの点のいろいろな組み合わせでできています。ビール缶や洗濯機にもあります。

素直な子供たちで私も楽しかったです。昔を思い出しました。

＜体験した小学生より＞

- ・私たちが書いたのをすばやく読んでいてすごかったです。
- ・目の見えない人は、こんな一日を過ごしているのだと知ることができました。
- ・点字を書くのは難しかったけど、だんだん楽しくなってきました。
- ・点字を読む大変さや、点字の大切さがわかりました。



こんなに仲良しになりました。

福祉体験

平成28年10月25日 3～6年生対象に
福祉体験学習が行われました。

★ 認知症講座 ★



＜体験した小学生より＞

- ・認知症の人だけでなく、困っていたら声をかけるとかをやりたいです。たとえいなくても、そういう心を持っていいです。
- ・もし自分のおじいちゃんやおばあちゃんが認知症になったら、その人の支えになってあげたり、不安や悲しい気持ちにならないようにやさしくしてあげたいです。
- ・今日習ったことをお父さんやお母さんに教えてあげたいです。

5年生

～認知症ってどんな病気？～

認知症とは

年をとればだれでもなる可能性があります。さまざまな原因で、脳の細胞が死んでしまったり、はたらきが悪くなったりするために、ものわすれがひどくなったり、できていたことができなくなり、今までのような生活が送れなくなる病気です。

認知症になると

- ・さっき聞いたこともわすれてしまう
- ・時間や月日がわからなくなる
- ・場所や人がわからなくなる

認知症の人は

自分がおかしなっていると感じ、これからどうなるだろうと不安な気持ちになっています。認知症の人の不安な気持ちをまわりの人が理解して、やさしく言葉をかけたり、接することで、症状が穏やかになります。

＜担任の玉置先生より＞

相手をまるごと受けとめること、これは、相手が認知症の方の場合だけでなく、誰に対しても同じだと思いました。

6年生

★ 手話体験 ★



自分の名前やあいさつの仕方も教わりました。
講師の先生へ質問もたくさんしました。

～耳が聞こえない人はどうするの？～

聴覚障がいのある方と話す時は？

- ①顔の見える位置で、ゆっくり話しましょう。
- ②1音1音区切らず、ことばのまとまりで区切って話しましょう。
- ③相手の口形や表情にも注目しましょう。
- ④文字に書いたり、身振りなど、他の方法も使いましょう。



＜講師の方より＞

生徒さんたちと楽しくできました。手話を心を持ってもらえたことが一番うれしいです。今度手話で校歌を歌ってみるのはどうかな。